

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第37期 第2四半期

2014年4月1日～2014年9月30日

株主通信

株主の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。2014年度第2四半期（累計期間）の「株主通信」をお届けするにあたり、ごあいさつさせていただきます。

当第2四半期の情報サービス市場は、銀行や保険などの金融業を筆頭に、多くの有力企業においてIT投資に積極的な意欲が見受けられました。また、クラウド・コンピューティングやビッグデータなど、インターネット環境の急速な進展に伴い、市場からのITに対する期待は一層の高まりを見せており、多様化する顧客ニーズへの迅速な提案力が求められてきました。

そうした中で当社は、市場の変化に即した効率的かつ柔軟な事業基盤を構築するため、総合情報サービス企業としての事業ポートフォリオの利点を活かしつつ、事業の「選択と集中」を進め、新たな需要の波に備えた受注・生産体制を構築してまいりました。また、顧客目線でのモノづくりを志向するため、営業活動においては、市場の動向を的確に把握するための営業情報の収集と、これに基づく積極的な企画・提案活動を行ってまいりました。

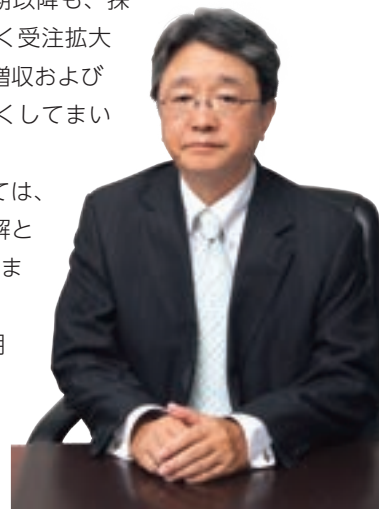
その結果、当第2四半期の売上高は前年同期に比べ増収を果たすことができました。一方の利益面におきましては、販売費及び一般管理費が増加したことにより前年同期に比べ減益となりましたが、当初の計画値を順調に推移することができました。引き続き第3四半期以降も、採算重視の姿勢を崩すことなく受注拡大に努め、通期業績における増収および利益回復のために全力を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当事業へのご理解とともに一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長

安藤 文男



■ 当第2四半期業績／累計

売上高	8,022百万円
営業利益	13百万円
経常利益	39百万円
四半期純利益	20百万円
1株当たり四半期純利益	1円73銭

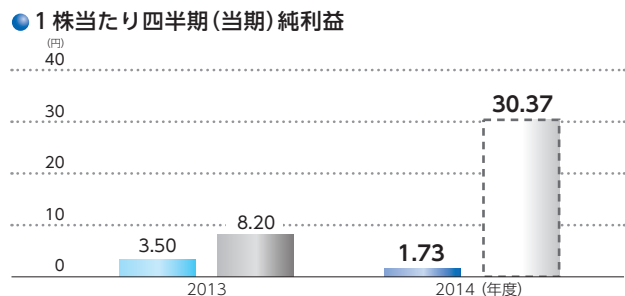
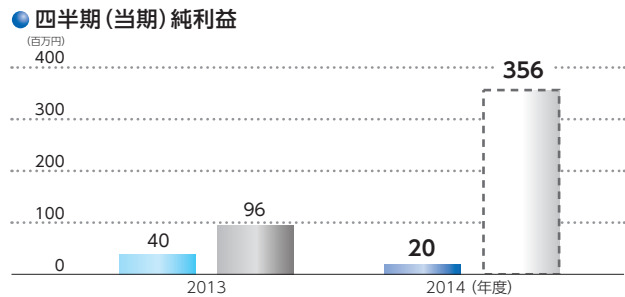
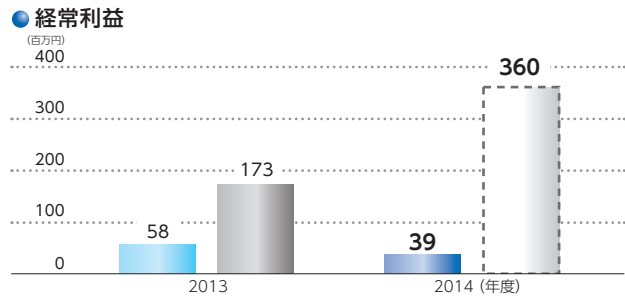
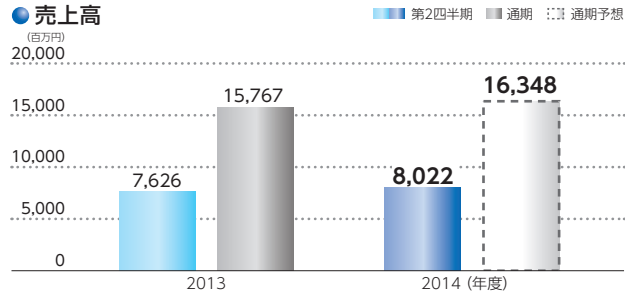
当第2四半期の営業状況をサービス別に述べますと、「コンサルティングおよびシステム・インテグレーション・サービス業務」では、IT投資の活発化が著しい金融分野を中心に、特にメガバンク向けの次期システム開発が受注範囲を拡げた他、生命保険の保険金・給付金支払いシステムや証券、地方銀行向けなど、多くの開発案件を獲得することができました。

また、社会・公共分野でのエネルギー関連、産業・サービス分野では、一部の大型案件が収束に向かったものの、精密機器メーカー向けクラウド画像管理システム、自動車部品向け生産管理システム開発など、多数の注力案件によって受注額を伸ばし、さらに組込み開発や第三者検証サービスも堅調な受注推移を辿りました。

一方の「システムマネジメントサービス業務」においては、従来のオペレーション業務にシステム基盤周辺の案件も合わせて一貫対応すべく統合・再編した「インフラサポートサービス部」によって、既存有力案件を堅守するとともに、新たなサービス範囲での営業活動を進めていきました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、8,022百万円（前年同期比5.2%増）となりました。なお利益面においては、新入社員の採用増や教育・研修の強化、社員の待遇改善などにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益13百万円（同69.4%減）、経常利益39百万円（同32.3%減）、四半期純利益20百万円（同50.3%減）となりました。

業績の推移



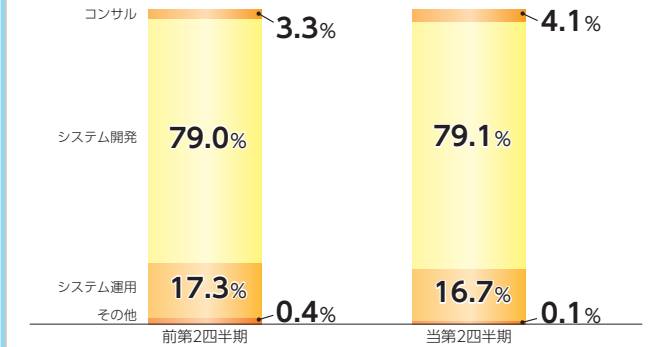
業績の概要

損益計算書

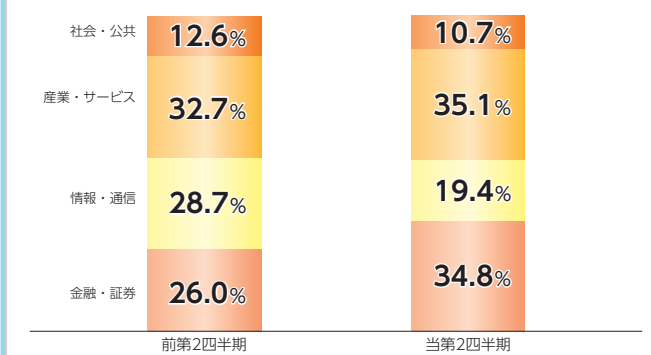
(百万円)

科目	当第2四半期 (2014年度 第2四半期/累計)	前第2四半期 (2013年度 第2四半期/累計)	前期 (2013年度)
売上高	8,022	7,626	15,767
売上原価	6,804	6,487	13,513
売上総利益	1,218	1,139	2,254
販売費及び一般管理費	1,205	1,096	2,109
営業利益	13	42	144
営業外収益	30	21	38
営業外費用	3	5	9
経常利益	39	58	173
特別利益	—	15	15
特別損失	0	1	19
税引前四半期(当期)純利益	39	73	169
法人税等	19	32	73
四半期(当期)純利益	20	40	96

品目別売上高比率



業種別売上高比率



2014年度通期業績予想

売上高	16,348百万円	前期比	3.7%増
営業利益	339百万円	前期比	134.3%増
経常利益	360百万円	前期比	107.9%増
当期純利益	356百万円	前期比	270.2%増
1株当たり 当期純利益	30円37銭	前期	8円20銭

第3四半期以降も、足元の受注が引き続き堅調に推移するものと見通しています。通期業績については、売上高163億48百万円(前期比3.7%増)、営業利益3億39百万円(同134.3%増)、経常利益3億60百万円(同107.9%増)、当期純利益3億56百万円(同270.2%増)を見込んでいます。

- 4月 ● 新入社員77名入社
- システム基盤・運用事業を統合した「インフラサポートサービス部」新設

- 6月 ● 大学の出願手続きをインターネットから行える『インターネット出願サービス』提供開始
- 第36回定時株主総会開催

Pick Up 1

積極提案と高品質なサービスに高い評価

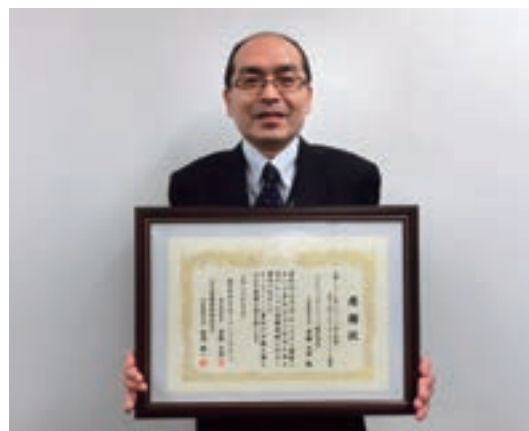
メガバンク次期開発でシステムユーザーらから感謝状

当社の重要案件のひとつ、みずほ銀行様向けの「勘定系次期システム開発」(第2ステップ第2段階)において、システムユーザーである株式会社みずほフィナンシャルグループ様、また契約先ベンダーのみずほ情報総研株式会社様より、これまでの積極的なシステム提案やサービス品質が評価され当期9月、感謝状をいただきました。

この動きは2012年の6月頃から、ピーク時の技術者は8千人をも見込む未曾有の開発プロジェクトとして、マスコミにも広く取り上げられるほどの大規模なシステム刷新。当社ではこれまでも、とくに外国為替業務に関するシステム開発で多くの経験を積み重ねてきましたが、2013年10月より新たに「メガバンク推進部」を設置し、このビッグプロジェクトを機動的かつ効率的に受注へ結びつけるための組織体制を整えました。開発工程の進ちょくに連れて、社内各部門の得意技術を持ち寄りながら戦略的に技術者をシフトさせるなど、当初50名ほどだった要員数もいまでは200名にまでのぼっています(2014年9月現在、ビジネスパートナー含む)。

こうした全社支援体制のほか、いままでの開発実績から表れているサービス品質、なかでもとくにシステム設計工程において、積極的に提案活動を繰り返したことなどが、当社サービスに対する高い評価につながったものと思われます。

この開発案件は、当社経営方針の「事業の選択と集中」に沿って「選択」したひとつで、今後も戦略的にノウハウや技術者を「集中」していくことによって、さらなる受注枠の拡大を見込んでいます。




当社を代表して感謝状を受けた
羽場昌巳 執行役員

Pick Up 2

社員の発想による新たなビジネス創造の
取り組みから生まれた2つの新サービス紹介

当社では、お客様のご要望に応じたシステムを構築する受託開発を中心とした事業を展開する一方で、社員の自由な発想から生まれる新規事業アイデアの公募制度により、新たなビジネスの創造にも取り組んでいます。2014年度はここまで4つの新サービスが当社の新たなビジネスとして事業化されました。その中から『インターネット出願サービス』と『ビッグデータ発想法 Webサービス』をご紹介します。


**「手軽さ」と「ゆとり」の出願
『インターネット出願サービス』**

出願から入学検定料決済、合格通知、入学手続きまで大学入試の出願手続きをインターネットから行えるサービスです。

《サービスの特徴》

学生にとっては、入学願書の購入費用がかからず、手書きの煩わしさや記入漏れ・記入ミス、郵送の手間がなくなるなど、ネットショッピングのように手軽に出願できるようになります。一方、多くの学生に受験してもらいたい大学側には、紙での出願よりも出願期間を延ばせることが一番のメリットです。また、入学願書の記入漏れ・入力ミスがなくなることは大学側にとっても作業負担を大幅に軽減でき、さらに印刷や発送費用の低減も見込めます。

学生、大学双方に大きな導入効果を期待できるサービスです。


**あなたの思考の殻を破る新機軸の発想メソッド
『ビッグデータ発想法 Webサービス』^{※1}**

新たなアイデア創出につながるヒントを、ビッグデータ(Twitter^{※2})から瞬時に活用できる新機軸の発想メソッドです。

《サービスの特徴》

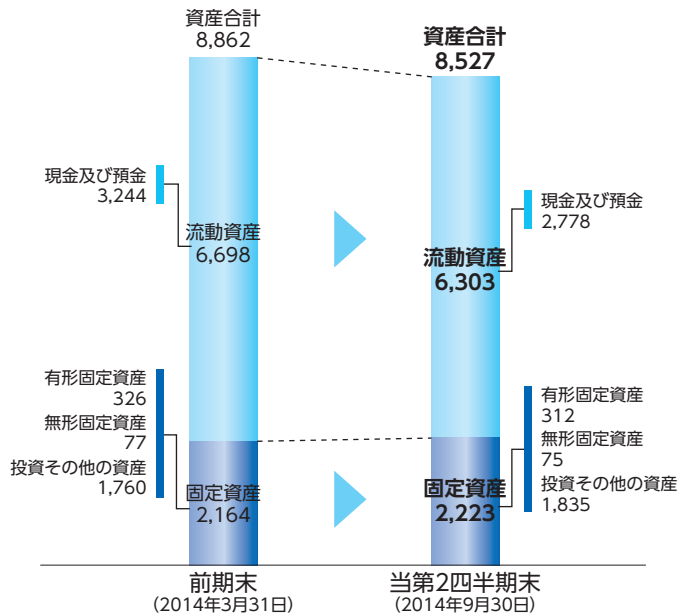
利用者がテーマに応じたワードを指定すると、そのたびにTwitterから関連ワードを品詞単位で抜き出し、「発想用辞書」が瞬時に生成されます。この「発想用辞書」に集められた関連ワードをフラッシュカードとして次々に表示、テーマに関わる旬なことばを結びつける連想思考により利用者の発想力を高め、短時間で大量のアイデアを誘発します。また、当サービスをベースとした発想力向上のための体験型セミナー「ワークショップサービス」も提供しています。

※1 当サービスは、発想法コンサルタントの株式会社創造開発研究所(所在地:東京都新宿区、代表:高橋 誠)と共同で提供します。
※2 Twitterデータは、株式会社エヌ・ティ・ティ・データからの提供によるものです。

貸借対照表の概要

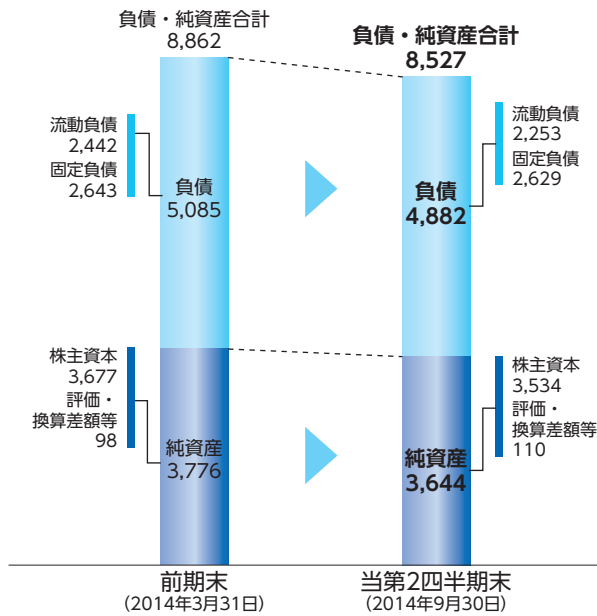
● 資産合計 (百万円)

(百万円)



● 負債・純資産合計 (百万円)

(百万円)



株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,034,660株
株主数	1,804名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)	
IKI持株会	1,608	14.07	
安藤文男	1,515	13.25	現当社代表取締役社長
安藤多喜夫	1,149	10.05	現当社相談役
畑中章孝	254	2.22	
(株)三菱東京UFJ銀行	214	1.87	
(株)千葉興業銀行	203	1.77	
春日正好	203	1.77	現当社最高顧問
(有)エム・ビ・エス	200	1.75	
三井倉庫(株)	200	1.75	
住友生命保険相互会社	139	1.21	

※自己株式1,273千株を保有しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
同総会議決権行使日	3月31日
株主確定日	3月31日
期末配当金受領日	3月31日
株主確定日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日 (中間配当を行う場合)
株主確定日	9月30日 (中間配当を行う場合)
その他の基準日	上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。

公告掲載URL 当社ホームページ
<http://www.ikic.co.jp/ir/download.html>
 に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

アイエックス・ナレッジ株式会社

〒108-0022 東京都港区海岸3-22-23
 TEL.03-6400-7000 (代表) FAX.03-6400-7900

キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期

(2014年4月1日～2014年9月30日)

(百万円)

